



Commvault — どこでも同じ 給与計算プラットフォーム を従業員に提供

世界的に有名なベル研究所の開発グループとして 1988 年にスタートした Commvault。現在はトップクラスのサイバーレジリエンスプラットフォームを提供するグローバルリーダーです。

データセキュリティ、データ保護、データインテリジェンス、リカバリーを 1 つのプラットフォームに集約し、総所有コストを押し下げることによって、Commvault はサイバーレジリエンスの代表的な存在となっています。

クライアントがランサムウェアなどのサイバーリスクや攻撃から、顧客の環境を復旧させて、攻撃に打ち勝つのをサポートするのが本質的な業務です。

今では世界約 30 か国で 3,000 人以上の従業員がチームとして働く Commvault。その範囲は米国、欧州、中東、アフリカ、アジア太平洋などあらゆる地域に及びます。

効率性と成長が給与計算の変革を促す

Commvault の会計ディレクター、Lisa Rosenblatt 氏は語ります。「当社の給与計算を変革したのは、私たちが多くの国で事業展開しており、プロセスがバラバラに手作業で行われていたためでした。」

「また、私たちは会社の目標を達成するため、少ない労力で多くのことをやるよう求められていました。こうした目標を叶えるため、私たちは給与計算を自動化し、効率性を高め、未来のビジネス成長を後押しする準備を整える必要に迫られていたのです。」

「そのため、私たちは市場で何が利用できるのかを調べ、一元化・自動化されたグローバルなソリューションのあるべき姿を検討することにしました。」

真にグローバルな給与計算ソリューションを選ぶ

Commvault はすでに ADP® を採用しており、そのパートナー関係に満足していました。ただ、その時点で会社の給与計算は統合や自動化がなされておらず、まだ多くの手作業による入力が必要でした。

Lisa Rosenblatt 氏

Commvault 会計ディレクター

概要

 **企業名:** Commvault

 **本社:** 米国ニュージャージー州
ティントンフォールズ

 **業界:** 情報テクノロジー/
ソフトウェア

 **従業員数:** 3,000 人以上
(30 か国)

 **製品:** ADP Global Payroll

**Commvault について詳
しくはこちら: commvault.com**


Always Designing
for People®

 Commvault®

Lisa 氏はこう説明します。「私たちは ADP が、国内の給与計算業者として非常に経験豊富だと気づきました。ADP には、私たちが持っていない給与計算とコンプライアンスについての専門知識があったのです。」

「また、私たちは ADP とのポジティブな協力関係と実績を踏まえ、彼らのプラットフォーム、ADP Global Payroll を導入することに決めました。ADP Global Payroll は、私たちが事業展開するすべての国をカバーするために必要なソリューションを提供してくれます。この新しい ADP のソリューションは、すべての国ですべての人が同じプラットフォームを使えるよう、統合・自動化された、効率的な給与計算オペレーションを提供してくれると思いました。」

ADP Global Payroll のビジネスケースの取りまとめ

Lisa 氏のチームは、ADP ソリューションを提案するためのビジネスケースを取りまとめる必要がありました。組織が必要としていた自動化、効率化、コスト削減を通じて、Commvault の長期的な戦略的方向性や目標のためにどのように役立つかを説明するためです。

さらに Lisa 氏は提案の中で、新しいソリューションでは Commvault の未来の成長に向けて給与計算オペレーションをどのように位置づけるかを示す必要がありました。

Lisa 氏は言います。「少なくとも最初は、新しい ADP ソリューションは従業員よりも給与計算チームにとってメリットが大きかったのではないかと思います。これは単純に、従業員が当社にいつも期待している優れたサービスを提供し続けることができたからです。」

「しかし、手作業での給与計算プロセスにまつわる問題は、ADP の自動化されたソリューションによって、すぐに軽減されました。つまり、すべてのタスクが大幅にスピードアップし、簡単かつ正確に行えるようになったのです。」

給与計算の処理時間を半減

「もちろん、効率の向上も大事です」と Lisa 氏は続けます。「しかし、給与計算チームの満足度が大きく上がったことは、ADP Global Payroll の導入で得たメリットでした。」

「例えば、すべてを手作業で確認したり、紙とデジタルのファイルを両方保管したりする必要がなくなりました。しかも、私たちのチームは同じ量の仕事をより短時間でこなせるようになりました。実際、私たちが初めてすべての給与計算を ADP ソリューションで送信したとき、彼らは私に具体的なフィードバックをくれました。サイクル時間はそれまでの約半分に削減できたのです。」

「そのため、遅くまで残業して給与計算をする必要がなくなり、メンバーたちは非常に喜びました。変革を進めている今も、それは変わりません。」

今後の Commvault と ADP の展望は？

これまで、Commvault は ADP Global Payroll を活用して給与計算プロセスを自動化し、ビジネスに必要な自動化、効率化、コストと時間の節約を実現してきました。重要なのは、この導入によって会社の従業員が毎回正確かつ期日通りに給与を受け取れるようになったことです。

Lisa 氏が続けます。「給与計算変革のロードマップにおける次のステップは、ADP の洞察と分析を製品で取り入れることです。来年は当社と ADP が協力して取り組むことが重要になります。私たちは基本的に、ビジネスにもっと付加価値の高い情報を提供できるようになりたいと思っています。」



私たちが初めてすべての給与計算を ADP ソリューションで送信したとき、サイクル時間はそれまでの約半分に削減できたのです。」

—Lisa Rosenblatt 氏

Commvault 会計ディレクター



Always Designing
for People®



「結局のところ、給与計算は最も費用がかかる業務の1つです。最大ではなくても、ほとんどの会社にとって間接費であることは変わらず、当社も例外ではありません。ですから、私たちは給与計算についての優れた洞察や分析を、同僚に確実に提供したいのです。」

「また、私たちは必要に応じてさまざまなレポートを求められるのが常ですが、こうしたレポートを統合し、以前を上回る情報を提供できるようにしたいのです。」

コンプライアンスの専門知識が安心感をもたらす

Lisa氏は語ります。「私たちがビジネスをやっている以上、最優先課題の1つとして、データセキュリティの懸念は常にあります。これは、私たちがADPとパートナー関係を結んだそもそもの理由の1つです。ADPはこの問題をとても真摯に考えてくれています。」

さらにこう付け加えます。「その他にリスク管理の観点から重要なことは、事業展開する各国での現地法のコンプライアンスです。私たちは30か国で活動しており、すべての国の法規制を熟知することはできません。そうした国でも、ADPなら従業員もしくは現地のプロバイダーが専門知識をもって対応してくれます。計算から申請まで、幅広い活動でコンプライアンスを保つために必要なすべての情報を保持し、共有してくれますから。本当に安心感を与えてくれます。」

強固な信頼に基づくパートナー関係

Lisa氏は言います。「私にとってADPはパートナーであり、この関係は信頼のもとに成り立っています。当社がコンプライアンスを維持し、給与計算を正確に行ううえで、ADPを頼りにしています。特に、私たちが仕事をする管轄区域内での税金の計算についてです。効率的なプロセスを提供し、当社のグローバルな給与計算の変革を後押ししてくれます。」

「このパートナー関係により、すべての業務は自動化され、1つのプロセスに標準化されました。ですから、現在の給与計算は基本的に2つの場所のみで処理しています。」

「私は、給与計算の変革を、目的というより過程として捉えています。進化と継続の一環です。新しいテクノロジーやアイデアとともに前進し続け、絶えず変化し続ける世界で最前線に立ち続けるために、ADPを頼りにしています。」

—Lisa Rosenblatt氏、会計ディレクター

「例えば、当社のロードマップの次のステップは、単一のセルフサービスプラットフォームを通して給与小切手の提供プロセスを自動化することです。このプラットフォームでは誰もが必要な情報を得ることができますが、自分が働いている国の、自分に関係する情報に限られます。」

最後にLisa氏はこう締めくくりました。「ADPとのパートナー関係は、これからもビジネス、従業員、私のチームに付加価値をもたらし続けると思います。」

「私たちは30か国で活動しており、すべての国の法規制を熟知することはできません。そうした国でも、ADPなら専門知識をもって対応してくれます。幅広い活動でコンプライアンスを保つために必要なすべての情報を保持し、共有してくれますから。本当に安心感を与えてくれます。」

—Lisa Rosenblatt氏

Commvault 会計ディレクター

